

国際大会・フェスティバル

特別な1年、さまざまな文化イベントに中国・韓国をはじめとする
国際的な要素を取り入れて展開しました。
中でも、コンテンポラリーダンス、
プロジェクションマッピング、書といった分野では、
新潟市の優位性を生かした国際大会を実施し、
新潟市文化を国際的に発信しました。



Noism0 愛と精霊の家

Photo: 篠山紀信

3公演に渡って繰り広げられたダンスフェスティバルでは、日中韓それぞれの色が出た三者三様のパフォーマンスが見られました。

韓国・大邱の公演は、軽快な音楽と力強い動きで、コンテンポラリーダンスにあまり馴染みがない人でも楽しめる内容でした。中国・香港の公演では、映し出される映像とリンクする動きで観客を魅了し、観るものを興奮の渦に巻き込んでいきました。NIDFの最後を締めくくった日本・新潟の公演では、個人の圧倒的なパフォーマンスと作品の完成度の高さで、ほぼ満員となった観客の感動を呼び、公演終了後は拍手が鳴りやまず、スタンディングオベーションが起こるほど強い印象を与えました。

また、各舞踊団の芸術監督3名による文化鼎談は、それぞれの国での舞踊活動や理念を話し合うことで、その差異や共通性からアジアの劇場や舞踊団の未来について考える非常に有意義なものでした。

開催日	2015/8/21(金)、23(日)、28(金)、9/4(金)
会場	新潟市民芸術文化会館(公演)、新潟県民会館(文化鼎談)
来場者数	1,182人
出演団体	Noism0(日本) 大邱市立舞踊団(DCMD)(韓国) 城市当代舞踊団(CCDC)(中国)
主催	新潟市、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
共催	「東アジア文化都市2015新潟市」実行委員会



Noism0 愛と精霊の家

Photo: 篠山紀信



Noism0 愛と精霊の家

Photo: 篠山紀信



城市当代舞蹈团 As If To Nothing

Photo: 村井勇



城市当代舞蹈团 As If To Nothing

Photo: 村井勇



大邱市立舞蹈团 I Saw the Elephant (The Second Act) Photo: 村井勇



大邱市立舞蹈团 Moon-Looking Dog

Photo: 村井勇



文化鼎談—劇場専属舞蹈団の課題とアジアの未来

Photo: 遠藤龍

開催概要
期間
フェスティバル
2015
子どもの交流
文化交流
を生かした交流
芸術イベント
文化交流
グローバル
関連事業
事業
広報活動
外国人誘客促進
資料編



グランプリ作品

「CROSS/交差」をテーマに行ったプロジェクションマッピング国際コンペティションには、世界14の国・地域から42のエントリーがあり、一次審査を通過した7か国・地域16作品を上映しました。審査の結果、グランプリは、中国・マカオのNeba studio × Kaze patricio Chanによる「Hyakki Yagyō」、来場者投票で決定するオーディエンス賞は、日本のOne mapperによる「Cross of culture ~ ukiyo-E-do ~」が受賞しました。また、コンペ作品以外にも、3組の海外ゲストクリエイターによる見応えのある作品を上映し、会場に集まった多くの観衆やクリエイターを魅了しました。

このほか、ステージイベントでは、海外ゲストクリエイターが作品への思いや各国のプロジェクションマッピング事情を語ったほか、ダンサー・コレオグラファー（振付師）のKOHARU SUGAWARAが映像とシンクロしたキレのあるダンスで、会場を埋め尽くした9,000人の観衆を大いに沸かせました。

開催日	2015/9/19(土)～23(水・祝)
会場	新潟市歴史博物館みなとびあ
来場者数	46,400人
出演者	プロジェクションマッピング・クリエイター多数 KOHARU SUGAWARA
主催	新潟市
共催	「東アジア文化都市2015新潟市」実行委員会



テーマ「CROSS/交差」



海外ゲストクリエイター作品



準グランプリ作品



オーディエンス賞作品



審査員特別賞作品



新潟市特別賞作品



ゲストクリエイタートーク



KOHARU SUGAWARA スペシャルステージ



国際シンポジウム 共同討議



中国清時代の乾隆帝龍袍をはじめ、貴重な所蔵品を展示

<書の美学>をテーマとした一連のイベントを実施しました。

企画展覧会では、藤井齊成会有鄰館が所蔵する中国周代から清代にいたる美術品、とりわけ古代の文字が刻まれた青銅器や石刻拓本、さらに書道史に残る著名書家の書作品が展示され、普段なかなか見られない品々に、来場者からは好評を得ました。

また、国際シンポジウムは、名だたる研究者の方々に講師をお願いすることができ、内容的にも「書の王国」新潟に恥じないものとなり、ご来場者からは質問も飛び交うなど、充実したものとなりました。

関連イベントとして開催した、東アジア文化都市市民交流書道展（薄田東仙と仲間の刻字展）、大学生のワークショップには、参加できるイベントということもあり、家族での参加も多くみられました。東京学館新潟高等学校書道部の皆さんによるパフォーマンスは、ダイナミックな動きから見事な書道作品を生み出し、多くの方を魅了しました。

開催日	書的美ヒストリア(藤井有鄰館所蔵名品)：2015/8/1(土)～9/9(水) 東アジア文化都市市民交流書道展：2015/9/1(火)～6(日) 国際シンポジウム：2015/9/3(木)～4(金) パフォーマンス・ワークショップ：2015/9/5(土)
会場	書的美ヒストリア(藤井有鄰館所蔵名品)：會津八一記念館及び文化の記憶館 東アジア文化都市市民交流書道展：りゅうとびあ 4階ギャラリー 国際シンポジウム：りゅうとびあ能楽堂 パフォーマンス・ワークショップ：メディアシップみなと広場・そらの広場
来場者数	3,213人
出演団体	シンポジウム 日本、中国、韓国はじめ欧米含む7つの国・地域から21人の研究者が参加 パフォーマンス・ワークショップ 東京学館新潟高等学校、新潟大学など4大学の書道科
主催	「東アジア<書の美学>」実行委員会、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会
特別協力	文化庁



大学生によるワークショップ



東アジア文化都市市民交流書道展



東京学館新潟高等学校による書道パフォーマンス